

はじめましょう 摂食・嚥下障害のVF検査

動画CD-ROM付き



編著 自治医科大学 歯科口腔外科学講座教授 神部 芳則
朝日大学 歯学部 歯科放射線学分野教授 勝又 明敏

執筆 朝日大学 歯学部 歯科放射線学分野講師 飯田 幸弘
自治医科大学 歯科口腔外科学講座助教 伊藤 弘人
那須赤十字病院 歯科衛生士 大橋 望
自治医科大学 歯科口腔外科学講座臨床助教 佐瀬美和子
自治医科大学 附属病院臨床栄養部栄養管理室長 佐藤 敏子
自治医科大学 附属病院摂食・嚥下障害看護認定看護師 戸田 浩司
自治医科大学 附属病院中央放射線部主任診療放射線技師 春名 克義
国際医療福祉大学 保健医療学部言語聴覚学科助教 平田 文
鎌ヶ谷総合病院 歯科口腔外科部長 星 健太郎
四街道徳洲会病院 歯科口腔外科部長 松本 浩一
自治医科大学 附属病院専任歯科衛生士 若林 宣江

AB判 / カラー / 96頁 / 定価(本体 3,000円+税)
ISBN978-4-7624-0691-1(2014.6/1-1)

- ◆解剖学的な基本事項から、検査の具体的な手技、模擬食品の選び方、読影の要点、実際の症例、偶発症、スタッフの役割までをわかりやすくまとめたVF検査のマニュアル書。
- ◆歯科医師、歯科衛生士、看護師、言語聴覚士、管理栄養士など、それぞれの分野で活躍している著者らが、より具体的ですぐに臨床で応用できるよう執筆。

主要もくじ

1 摂食・嚥下とVF検査

- 1 摂食・嚥下とは
- 2 口腔、咽頭、喉頭、食道の解剖
- 3 口腔相
- 4 咽頭相
- 5 食道相

2 嚥下造影

- 1 嚥下造影(VF)検査とは
- 2 嚥下造影のための模擬食品
- 3 嚥下造影の適応患者
- 4 嚥下造影のための機材と操作
- 5 嚥下造影の評価方法
- 6 VF画像の診断

3 嚥下造影にみるパターン

- 1 正常嚥下
動画①: 正常嚥下
- 2 喉頭侵入
- 3 喉頭蓋谷残留
- 4 梨状陥凹残留

5 誤嚥

- 6 食道入口部開大不全

4 症例にみる嚥下造影

- 1 頭頸部疾患
動画②: 舌癌リハビリテーション前
動画③: 舌癌リハビリテーション後
- 2 神経疾患
動画④: 脳梗塞1
動画⑤: 脳梗塞2
動画⑥: 脳梗塞3
動画⑦: 脳梗塞1
動画⑧: 脳梗塞2
動画⑨: 脳梗塞3
動画⑩: 多発性脳梗塞
動画⑪: 認知症・廃用症候群
動画⑫: 小脳・延髄梗塞
動画⑬: 進行性核上性麻痺
動画⑭: 脊髄性進行性筋萎縮症
動画⑮: パーキンソン症候群

動画⑯: 多系統萎縮症

- 3 消化器疾患
動画⑰: 食道癌
- 4 その他(障害児・者)
動画⑱: 食品の嚥下1(うどん)
動画⑲: 食品の嚥下2(とろみ水)
動画⑳: 食品の嚥下3(プリン)

5 VF検査とVE検査の比較

- 1 VF検査
- 2 VE検査

6 検査に際してのスタッフの役割

- 1 検査前の簡易検査と口腔ケア
- 2 嚥下障害の診断がついた場合の口腔ケア
- 3 VF検査と言語聴覚士のかかわり
- 4 VF検査食(模擬食品)のレシピと嚥下障害患者の食事形態のポイント
- 5 VF検査前後の病棟看護師の役割

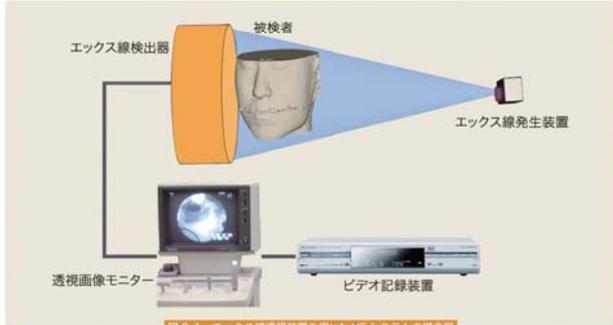
7 検査に際しての偶発症とその対応

2

嚥下造影

嚥下造影 (VF) 検査について、VF とは何か、目的、対象患者、検査方法、検査機材と撮影、保存方法、評価方法について解説します。

1 嚥下造影 (VF) 検査とは



摂食とは、飲食物を口から食べる、飲む行為の全体をさし、嚥下とは、摂食時の飲み込み行為、すなわち、飲食物を口腔から胃に送り込む動作をさします。摂食・嚥下障害とは、飲食物を口から食道や胃へ送り込むための一連の流れが障害された状態をいいます。

●嚥下造影 (VF) 検査
video fluoroscopic examination of swallowing
嚥下造影は、被検者が造影剤 (バリウムやヨード造影剤) を含む試料を摂取して嚥下する様子を、エックス線透視装置を用いてテレビ画面で観察する検査方法です。嚥下は非常に速い運動であるため、エックス線ビデオなどに動画として記録し、繰り返し



起こされ、食道に入るまでに数秒～数十秒を要することになります。

●誤嚥の観察
VF 検査で最も注目されるのは、飲食物や唾液が気管に入ることです。窒息や誤嚥性肺炎を引き起こす原因は、高年齢者では肺炎の最大の発症原因が誤嚥です。飲食物が声帯のレベルを越えて

気管に侵入したものが誤嚥です。この前段階として、飲食物が喉頭に侵入しても声帯を越えないうちに嚥下される場合があります。これを喉頭侵入とよんで区別しています。誤嚥や喉頭侵入の原因は、飲食物を口から摂取して食道に輸送する複雑な生体メカニズムが破綻するためです。摂食・嚥下過程のどこからでも誤嚥が生じますが、おおまかに、次のようなタイプに分けることができます。
① 口腔内に保持できなかった飲食物が舌を伝って



症例 8 78 歳、女性、腎臓性進行性筋萎縮症 ●動画録：等軸

図 4-18 咽頭造影時

a: 咽頭造影時 咽頭蓋谷や梨状陥凹に食物の残留がみられましたが、とろみ水と交叉嚥下させることによって残留は改善されました。
b: 交叉嚥下後

生活はほとんど支障がなく、常食を自力で摂取できていました。会話時、若干の嚥下不全がありました。鼻咽喉閉鎖不全のため、水分を取り込んだあと、下を向くと、ときどき鼻から水が出てしまいました。口腔内は、咽頭反射が鈍く、左右嚥はありせん。RSST: いくらか動くものの困難でした。食事時の嚥下反射は比較的スムーズですが、舌骨上量は不十分でした。右下顎臼歯部に部分床義歯を使用されており、残存歯は問題ありませんでした。これまで、嚥下訓練 (食事前の準備運動) として、① 開閉口し、顎の運動。② 舌、表情筋を自力でよく動かす。③ 冷水によるうがいを行っていました。
《既往歴》
橋本病

《現病歴》
20 年ほど前から、徐々に両手が使いにくい、しゃべりにくいという症状が徐々に進行しました。10 年ほど前から会話が困難となり、4 年前、食事のときむせやすく、飲み込みにくくなったため神経内科を受診し、腎臓性進行性筋萎縮症と診断され、外来通院にて嚥下機能訓練を行っていました。4 年ほど経過しても病状や摂食・嚥下状況に急速な悪化は認められませんが、今回、嚥下評価のために VF 検査を施行しました。
《VF 検査所見》
方法: とろみ水 → 卵焼き → 根菜類食物 → 米飯 → 水 (とろみなし) → 具入り味噌汁
結果: すべての食材において摂食、咀嚼は正常でしたが、嚥下反射が起こる前に咽頭へのたれ込みを認めました。たれ込んだ食塊は梨状陥凹に残留し、数回空

図 6-23 口腔ケアに使用した用具

スポンジブラシは、軟らかく、小さいもののほうが舌の下や頬と奥歯の間などもケアできます。
⑤ 歯の清掃
歯がある患者さんには、必ず歯ブラシを使います。患者さんに合わせて歯ブラシを選びます。歯部に当たらないようにヘッドが小さいものが良く、ブラシの硬さは、歯部の治療経過によってウルトラソフトからミディアムまで使い分けられます。あまり軟らかすぎると汚れが落とせないため、ウルトラソフトの使用は、術後 1 週間以内とします。タフトブラシは、術後の開口障害がある患者さんにはとても有効です。スリムなので、歯ブラシでは届きにくいところまで清掃が可能です。歯間ブラシは、患者さんに合ったサイズを選びます。
症例の患者さんは、上顎前歯部にブリッジ (橋渡しした補綴物) が装着されていたため、スーパーフロスも使用しました。
⑥ 皮弁と粘膜、舌の間のスリット部の清掃
綿棒を使用し、皮弁部と粘膜、舌の間の汚れを押し込まないように清掃します。空綿棒では、乾燥して汚れが除去できないので、一度濡らしてから使用します。
⑦ 清拭
濡らしたガーゼ、またはスポンジブラシで浮いた汚物などを除去します。
⑧ 保湿
ケア後、乾燥部位に保湿ジェルを塗布します。
《機能的口腔ケアとして》
術後 2 週間より口腔ケア科に摂食機能訓練 (間接) を開始しました。口唇閉鎖がむずかしく、涎漏が多量だったため、口唇・頬訓練を行いました。舌は前方には出せるものの、舌尖を持ち上げたり左側の口角をなめることができなため、舌運動も行いました。そのほか、頸部回旋運動や肩運動などを行いました。しかし、1 日をおしてリハビリテーションばかりで、患者さんのストレスがたまり、リハビリテーショ

図 6-24 口腔ケア

図 6-25 耳鼻科外来でバルーン引き抜き法の訓練中

株式会社 学建書院

〒113-0033
東京都文京区本郷2-13-13本郷七番館 1F
TEL (03) 3816-3888
FAX (03) 3814-6679
http://www.gakkensho.in.co.jp

●お取扱いは

はじめましょう

シリーズ



はじめましょう 有病者の口腔ケア

—歯科衛生士のためのチェックポイント—

編集 自治医科大学歯科口腔外科学講座教授 神部芳則
自治医科大学附属病院主任歯科衛生士 井上千恵子
那須赤十字病院歯科衛生士 秋元留美

AB判 / カラー / 145頁 / 定価(本体 3,500円+税) / ISBN978-4-7624-0696-6 (2015.4/1-1)

備えましょう! 寄り添いましょう! めざしましょう!



- ◆患者さんが診察室に入ってきたときのチェックポイントから、患者さんの具合が悪くなったときの対応法まで、歯科医師と歯科衛生士が実際のケースを示しながら解説。
- ◆安全で安心な歯科治療のため歯科衛生士がおさえておきたいポイントを歯科衛生士の視点で解説。



はじめましょう 摂食・嚥下障害のVF検査

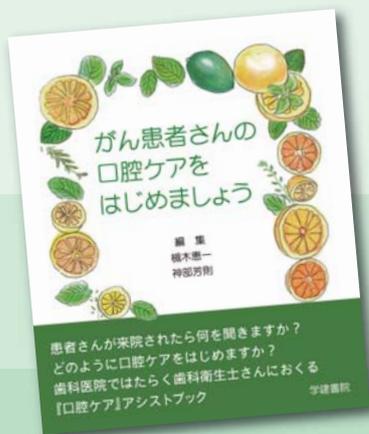
編集 自治医科大学歯科口腔外科学講座教授 神部芳則
朝日大学歯学部歯科放射線学分野教授 勝又明敏

AB判 / カラー / 96頁 / 定価(本体 3,000円+税) / ISBN978-4-7624-0691-1 (2014.6/1-1)

動画 CD-ROM 付き



- ◆解剖学的な基本事項から、検査の具体的な手技、模擬食品の選び方、読影の要点、実際の症例、偶発症、スタッフの役割までをわかりやすくまとめたVF検査のマニュアル書。
- ◆歯科医師、歯科衛生士、看護師、言語聴覚士、管理栄養士など、それぞれの分野で活躍している著者らが、より具体的にすぐに臨床で応用できるよう執筆。



がん患者さんの 口腔ケアをはじめましょう

編集 神奈川歯科大学大学院口腔科学講座教授・歯学研究科長 榎木恵一
自治医科大学歯科口腔外科学講座教授 神部芳則

AB判 / カラー / 92頁 / 定価(本体 2,500円+税) / ISBN978-4-7624-0686-7 (2013.10/1-1)

がん患者さんが来院されたときの対応、口腔ケアの方法を
臨床で活躍する歯科衛生士がわかりやすく解説



- ◆がん患者さんが来院したときの歯科衛生士の対応の仕方や、口腔ケアの方法を、具体的・実践的に示したマニュアル書。
- ◆がんの病気の説明、照会状・報告書の記載法など、すぐに役立つ情報で構成。
- ◆診療室の脇に置いて利用していただきたい1冊。